

Japanese Unexamined (Kokai) Utility Model No. 59-137105

- (21) Application Number: 58-31321
- (22) Application Date: March 3, 1983
- (72) Inventor: Katsu Ariba
- (72) Inventor: Osamu Takebe
- (71) Applicant: Hiroshima Kasei Co., Ltd.

1. Name of the Utility Model: Shoe Heel

2. Scope of the Claims of the New Utility Model

A shoe heel, characterized by the fact that it is provided with a construction comprising an indent part 1 created at the rear face of the ground face of the heel, wherein a heel part unit A is mounted so that it is integrated in an accommodating hole 3 created in the direction toward the rear of a rising face 2 in said indent part 1, in a shoe heel comprising a heel part material B, formed protruding to an integrated tongue piece 5 on a step part 4 of a base part 8, created with a shape enabling its engagement by the indent 1;

wherein multiple engagement grooves 6, 7 are created in the accommodating hole 3 and the tongue piece 5, so that when the tongue piece 5 is inserted into the accommodating hole 3, said engagement grooves 6, 7 create an engaged and locked construction.

4. Brief Description of the Figures

Figure 1 shows a side profile view indicated the mounted and inserted status of the present utility model, Figure 2 shows a rear profile of the item shown in Figure 1, Figure 3 is a perspective view of the bottom face of the based unit of the heel, Figure 4 shows a vertical profile view of the heel base unit, Figure 5 and Figure 6 illustrate the heel material, and Figure 7 shows a profile view along the line A - A' indicated in Figure 2.

A ... heel base unit, B ... heel member, 1 ... cutout part, 2 ... rising surface, 3 ... accommodating hole, 4 ... step part, 5 ... tongue piece, 6, 7 ... engaging groove, 8 ... base part.

THIS PAGE BLANK (USPTO)

公開実用 昭和59—137105

DS

① 日本国特許庁 (JP)

① 実用新案出願公開

② 公開実用新案公報 (U)

昭59—137105

③ Int. Cl.²
A 43 B 21/42
21/39
21/52

識別記号

庁内整理番号
6670—4F
6670—4F
6670—4F

④ 公開 昭和59年(1984)9月13日

審査請求 未請求

(全 頁)

⑤ 概 略

⑥ 考 案 者 竹部修

広島県佐伯郡大野町6790の3

⑦ 実 願 昭58—31321

⑧ 出 願 人 広島化成株式会社

⑨ 出 願 昭58(1983)3月3日

東京都千代田区大手町二丁目6

⑩ 考 案 者 有場克

番2号

広島県深安郡神辺町徳田2100—

⑪ 出 願 人 竹部修

10

広島県佐伯郡大野町6790の3

明 細 書

1. 考案の名称

靴 踵

2. 実用新案登録請求の範囲

踵部の接地面後部に切欠部 1 を設け、該切欠部 1 の立上り面 2 に後方に向け開口する収納孔 3 を一体に設けた踵基体 A と、切欠部 1 に係合する形状よりなる基部 8 の段部 4 に舌片部 5 を一体に突設した踵部材 B よりなる靴の踵において、収納孔 3 と舌片部 5 に夫々複数条の係止溝 6. 7 を設け、収納孔 3 に舌片部 5 を挿入すれば、該係止溝 6. 7 が係合し係止する構造としたことを特徴とする靴踵

3. 考案の詳細な説明

本考案は、靴の踵の最も摩耗し易い接地面後部を取替可能にした靴踵の構造に関する。

靴の踵が摩耗、特に偏摩耗した状態で履用を続ければ、歩行が不自然となるのは勿論であるが、足の関節部或いは内臓の負担が増し健康上好ましいものでない。これがため従来より踵が摩耗或い

は破損した場合は、修理店に持参して摩耗部分の取替、修理を行なっているのが普通であるが、これら補修には時間的ロスが大きい上に、補修費用も結構高くつくものである。

本考案は、上記のような従来の問題点に鑑み、素人でも容易に踵の摩耗部分の取替、修理ができる靴踵を提供するものである。

以下図面にもとずき実施例を述べる。

第1図は本考案の挿着状態を示す靴の側面図、第2図は第1図の背面図、第3図は踵基体の底面斜視図、第4図は踵基体の縦断面図で、第5図及び第6図は踵部材を示す。

第3図及び第4図で示すように、踵部の接地面後部に切欠部1を設け、該切欠部1の立上り面2に後方に向け開口する収納孔3を一体に設けた踵基体Aを形成し、該収納孔3は接地面側の壁面に山形状よりなる複数条の凹凸に係止溝6を設けた構造とする。次いで、第5図及び第6図で示すように、切欠部1に係合する形状よりなる基部8を形成し、該基部8の段部4に舌片部5を一体に突

設した踵部材 B を形成し、該舌片部 5 は第 6 図で図示するように、一面は基部 8 の底面と平面状につながり、他面は第 5 図に示すように山形状よりなる複数条の凹凸の係止溝を設け、かつ前記収納孔 3 に嵌合する形状とする。この場合収納孔 3 及び舌片部 5 に設ける係止溝 6、7 は、同溝数とし、かつ凹凸が相対するように設ける。

本考案は上記のような構造よりなるので、その取付け及び使用に関しては

- 1) 踵基体 A を本底と一体に形成し、靴の成形時脰被に貼付ける方法
- 2) 踵基体 A を単体で形成し、本底に貼着する方法
- 3) 踵部の補修時に既存の踵部を切断除去し、該除去部分に踵基体 A を貼着する方法

等により、踵基体 A を靴底に一体成形或いは貼着させる。次いで収納孔 3 と舌片部 5 に設けた係止溝 6、7 が対面するよう位置決めし、舌片部 5 を収納孔 3 に挿入すれば、係止溝 6、7 が係合し、第 7 図で示す状態で両者は係止し、履用できる。

履用により踵部材 B が摩耗或いは破損し取替の必要が生じた場合は、踵基体 A より踵部材 B を引き抜き、新しい踵部材を挿入すれば補修は完了する。

本考案で使用する材料としては、ナイロン樹脂、ハイスチレンゴム、ポリウレタン樹脂のような硬質又は半硬質の材料が好ましい。又防滑効果を得るために踵基体 A 及び踵部材 B の接地面側に凹凸の意匠を設けるとか、切欠部 1 の位置を踵部の外又は内側寄りにずらして設けることは自由である。

本考案は以上のように構成されるので、次のような効果を発揮する。

- 1) 素人でも容易に踵部の取替ができる。
- 2) 射出成形等による大量生産が可能であるので、安価に生産できる。
- 3) 靴の寿命が長くなる。
- 4) 常に正常な姿勢が保てるので、内臓の負担が軽減する。

等の多くの効果が得られる。

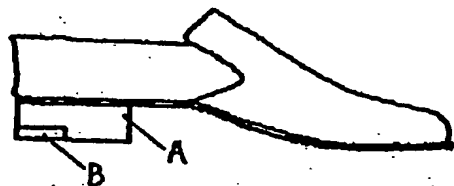
4. 図面の簡単な説明

第 1 図は本考案の挿着状態を示す側面図、第 2

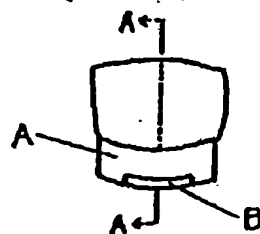
図は第 1 図の背面図、第 3 図は踵基体の底面斜視図、第 4 図は踵基体の縦断面図、第 5 図及び第 6 図は踵部材で第 7 図は第 2 図の A - A' 線断面図である。

A 踵基体	B 踵部材	
1 切欠部	2 立上り面	3 収納孔
4 段部	5 舌片部	6. 7 係止溝
8 基部		

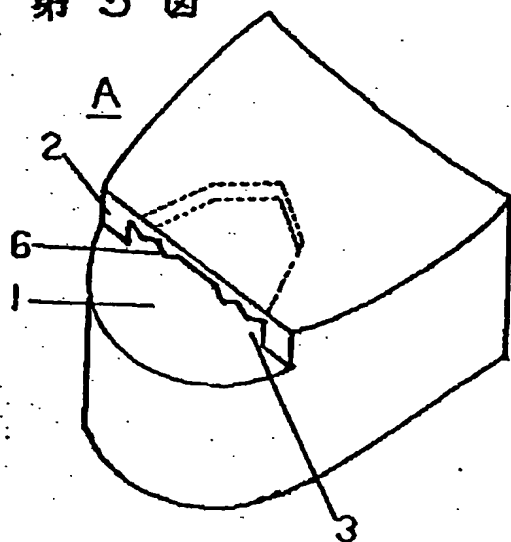
第 1 図



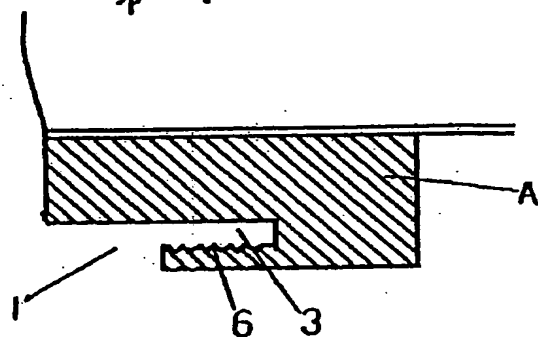
第 2 図



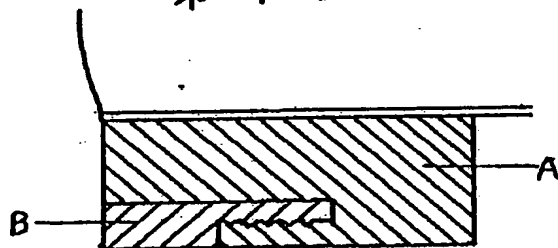
第 3 図



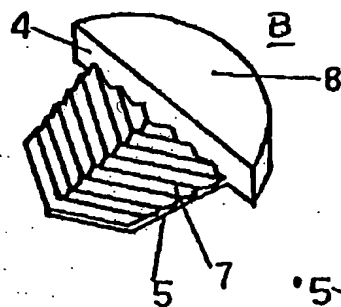
第 4 図



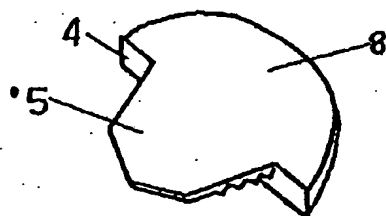
第 7 図



第 5 図



第 6 図



実用新案登録出願人
 丸島大蔵株式会社
 代表者 宮地 芳夫 (外1名)

THIS PAGE BLANK (USPTO)

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

THIS PAGE BLANK (USPTO)